



# 令和5年度市政懇談会

## 市長のいきいきタウントーク

ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市

～人・自然・文化が織りなす 知恵と協働でつくる下野市～

# 都市核形成・3駅周辺の都市開発について

## 都市計画マスタープランでの優先取組

### 1. 「都市核」の形成に向けた取組

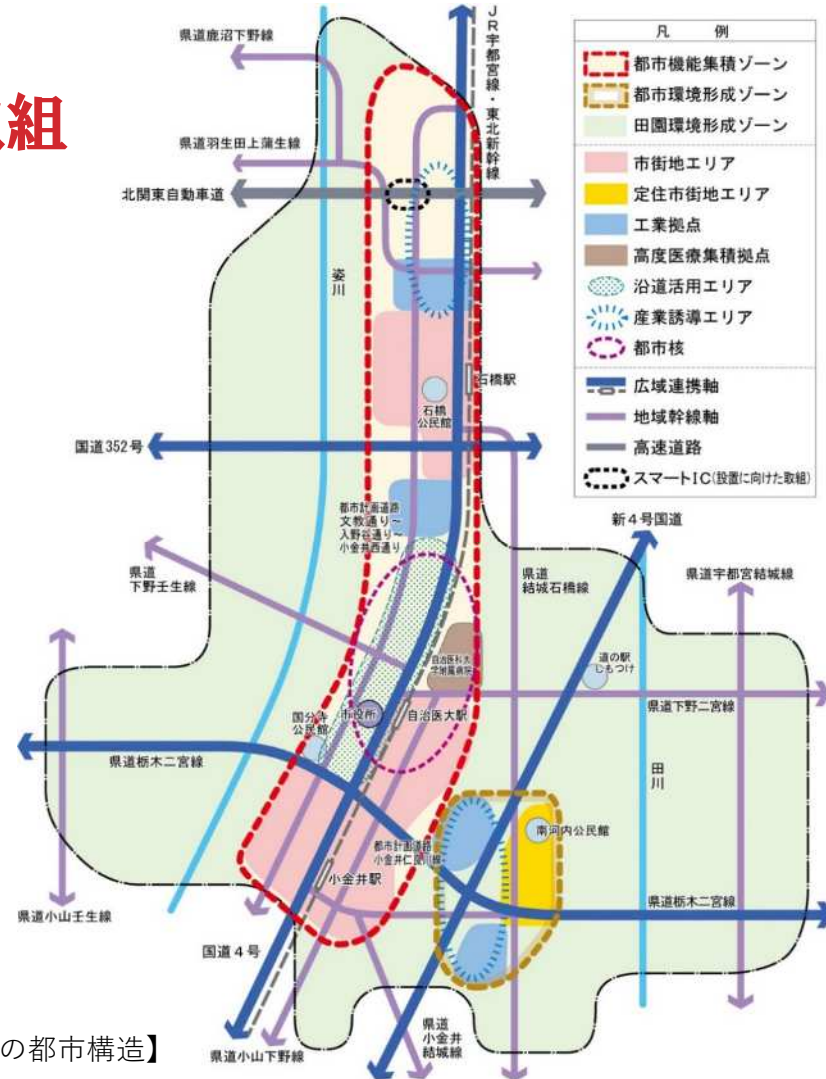
- ・市役所及び自治医大駅周辺地域、自治医科大学などを含めたエリア
- ・行政機能や高度な医療環境を備えた定住環境の形成
- ・特に、市役所及びその周辺は、市民の生活を支え、多くの人が集まるにぎわい創出の場として、計画的な土地利用を推進

### 2. JR3駅におけるコンパクトシティ形成に向けた取組

- ・商業や医療などの都市機能を誘導・集積
- ・駅周辺への定住を促進するコンパクトで暮らしやすいまちづくり

### 3. 産業誘導エリアの実現に向けた取組

- ・新4号国道周辺
- ・下野スマートインター周辺



【図：将来の都市構造】

# 令和5年度の取組

## 1. 「都市核」の形成に向けた取組

地元関係者と市との  
将来イメージの共有



田園風景の広がる市役所西側



自治医科大学と市街地が広がる  
市役所東側

## 2. JR3駅におけるコンパクトシティ 形成に向けた取組

小金井駅西口周辺、石橋駅  
西口周辺の地元関係者と市  
との将来イメージの共有

意見交換会・アンケート調査  
による  
具体的な意向の把握

- ・事業化の検討
- ・土地利用計画の検討
- ・まちづくり協議会  
の組織化 等

将来  
イメージ



小金井駅西口



石橋駅西口

# (仮称)下野スマートインターチェンジについて

## 位置と整備効果

### I 地域経済の活性化

- 物流効率化、新たな企業の進出促進
- 農産物の輸送力の向上
- 地域の観光振興 等

### II 地域生活環境の充実

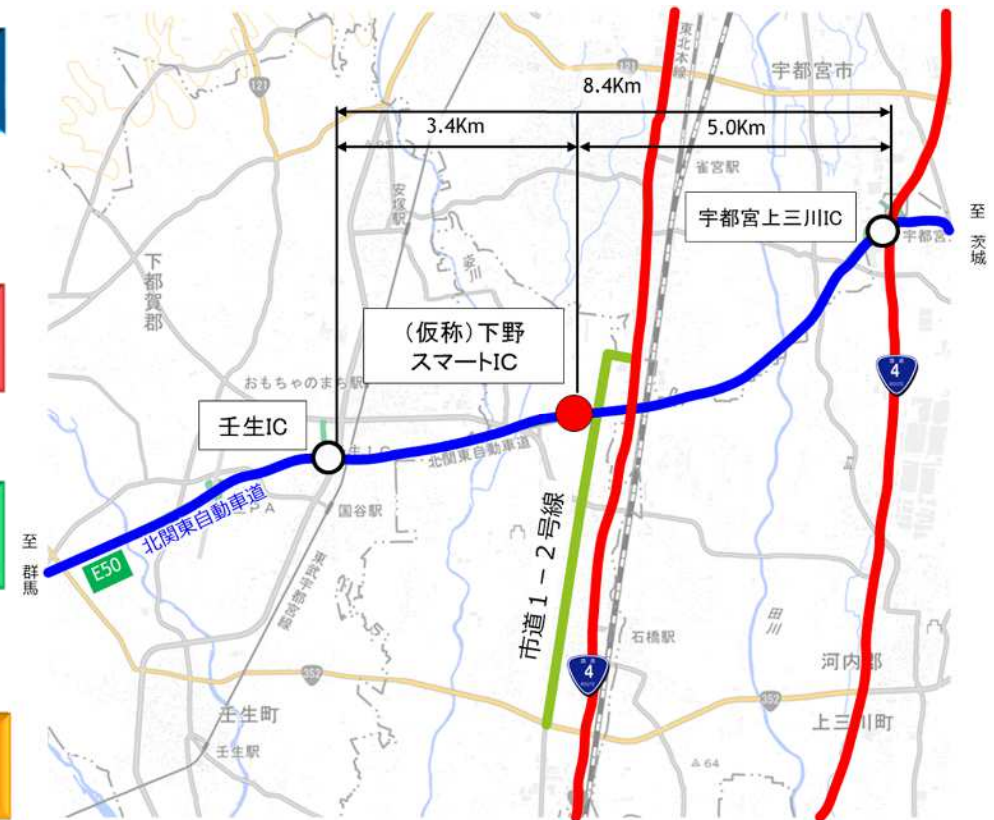
- 高速道路利用環境の向上

### III 安全安心を支える地域づくり

- 災害時の救援活動や緊急物資輸送の迅速化
- 救急医療環境の改善

### IV 周辺交通の負荷軽減

- 交通が集中する一般道の混雑緩和





## ●事業の取組

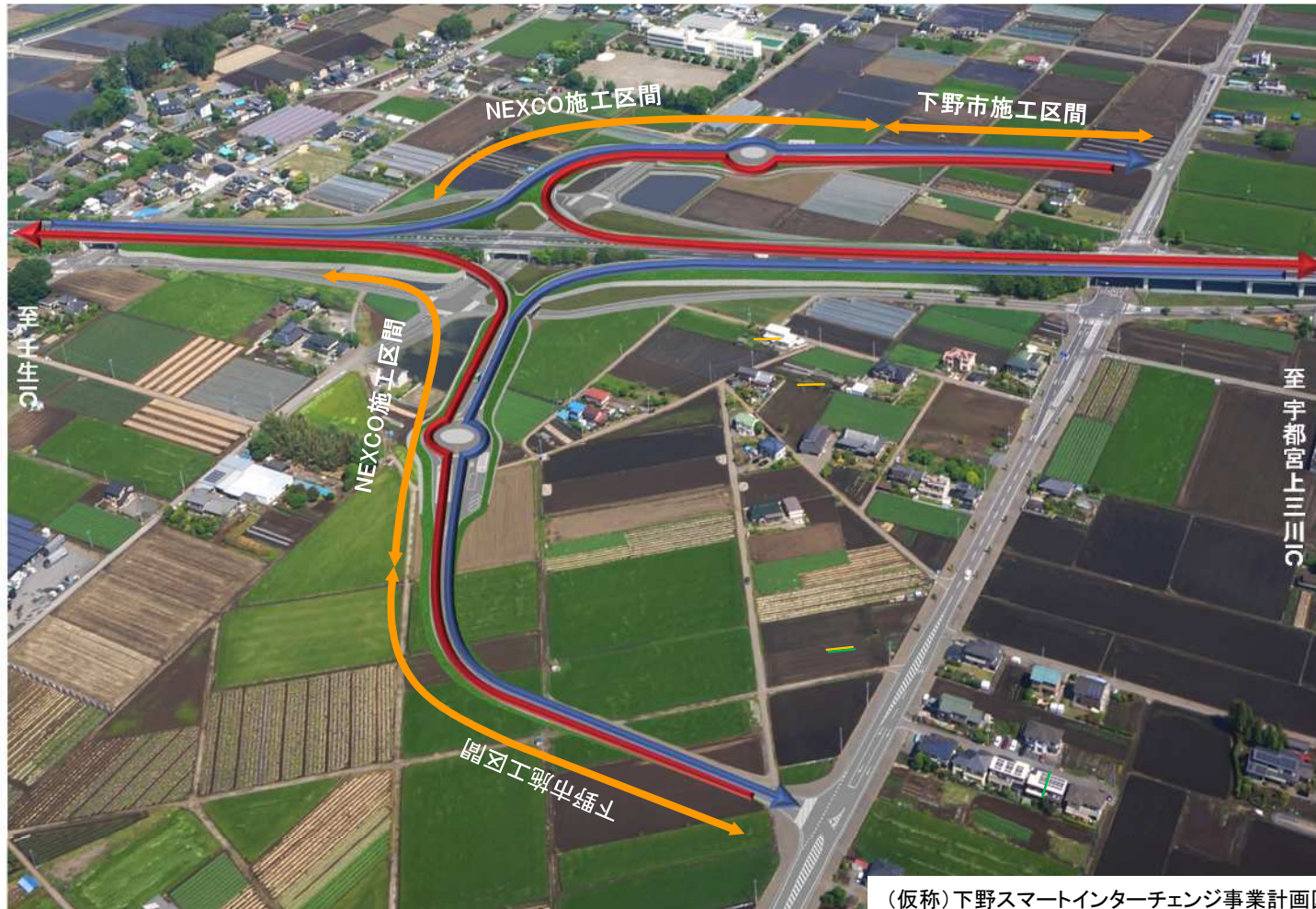
平成29年	7月21日	準備段階調査箇所への採択	
平成29年	11月18日	第1回事業説明会開催	
平成30年	7月18日	第1回地区協議会開催	
平成30年	8月10日	新規事業化	
平成30年	11月25日	第2回事業説明会開催	
令和	元年11月24日	第3回事業説明会	
令和	元年度	測量・設計業務発注	
令和	2年度	用地取得交渉開始	
令和	3年度	東側調整池築造工事	
令和	4年	2月25日	第2回地区協議会開催
		8月22日	第3回地区協議会開催
令和	4年度	用地取得完了	
		南側進入路築造工事（その1）	
令和	5年	3月10日～	本体工事着手（東日本高速道路株）
		6月24日	本体工事着手に伴う工事説明会開催
令和	5年度	南側進入路築造工事（その2）	
		北側進入路築造工事	



南側進入路整備状況写真

## ● 今後の取組

(仮称) 下野スマートインターチェンジ整備事業  
事業期間：平成30年度～令和7年度末以降





# しもつけ産業団地整備事業について

## 進捗状況（これまでの取組）

- R1. 8月 新産業団地の整備に関する要望書提出（市→県）
- R1. 9月 基礎調査地区及び調査主体の決定（調査主体：栃木県土地開発公社）
- R2. 10月 事業採択要請（市→県）
- R2. 12月 事業採択及び事業主体決定（事業主体：栃木県土地開発公社）
- R3. 3月 栃木県土地開発公社との基本協定書締結
- R3. 3月 都市計画決定告示（市街化区域、工業専用地域）
- R3. 12月 用地取得完了
- R4. 3月 栃木県土地開発公社との細目協定締結
- R4. 3月 開発許可決定
- R4. 3月～7月 流末雨水排水管布設用地樹木伐採工事（下野市商工観光課）
- R4. 7月～ 造成工事（栃木県土地開発公社発注）
- R4. 11月～ 流末雨水管布設工事（下野市商工観光課発注）
- R5. 1月～ 分譲予定地の予約受付



# 団地の概要

## 位置図



整備箇所	下野市下坪山、花田、絹板地内
事業主体	栃木県土地開発公社
施工期間	令和4年度～令和6年度（予定）
団地面積	約33.3ha
分譲面積	約24.3ha（6街区）



## 完成区画イメージ図





## 施行状況

着工前 (R4. 3月)



造成中 (R4. 8月)



造成中 (R5. 8月)



## 今後の取組

### ○工事

- ・令和4年度～令和6年度 造成工事 (公社施工)
- ・令和4年度～令和5年度 流末雨水管布施工事 (市施工)

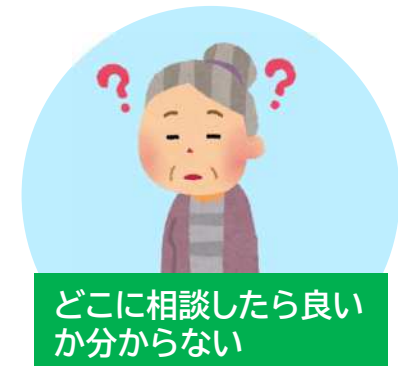
### ○企業誘致

- ・令和7年度 売買契約

# 福祉まるごと相談窓口の開設について

今ある福祉制度にあてはまらない課題を抱え、どこに相談したら良いか分からない方の相談窓口として、10月2日(月)に**福祉まるごと相談窓口**を開設しました。

<例えば、このようなことでお悩みではありませんか？>



## 【支援内容】

- ・相談を受けとめ、気持ちや思いに寄り添いながら解決に向けたサポートを行います。
- ・活用可能な福祉制度をご案内し、適切な相談支援機関におつなぎします。
- ・各相談支援機関が連携して支援できるよう、必要に応じて関係機関と情報共有し、支援の方向性を検討します。

### 【受付時間】

平日の午前8時30分から午後5時15分(土日祝日・年末年始を除く)  
※事前に連絡をいただければ訪問などご要望に沿って相談に応じます。メールでの相談もお受けしております。

### 【開設場所】

社会福祉課地域共生グループ内(市役所1階9番窓口)

### 【職員体制】

相談支援包括化推進員1名、保健師1名、事務職2名



### 【相談場所・連絡先】

下野市役所 健康福祉部 社会福祉課 地域共生グループ

☎ 0285(32)7087(下野市笹原26番地)

✉ syakaifukushi@city.shimotsuke.lg.jp

◎相談は無料です。福祉に関してお悩みのことがありましたら、ご本人やご家族だけで抱え込まず、まずはご相談ください。



# 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の 一体的実施事業について

すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題となっていることを踏まえ、国及び県の補助事業として、昨年度末に全国的に取り組みが開始された事業



—下野市では、令和5年2月に事業を開始—

# 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の 一体的実施事業について

## 「伴走型相談支援」

妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産育児等の見通しを立てるため、保健師や助産師等による面談や、継続的な情報発信を行うことを通じて、必要な支援につないでいく。

## 「経済的支援」

出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減を図るために給付金を支給する。

(妊娠届出後5万円、出生届出後5万円 合計10万円)

2つの支援を一体的に実施



# しもつけっ子応援プロジェクト について

令和5年度から実施  
下野市独自の新規事業

## 【事業の目的】

子育て中の 保護者の精神的・経済的  
負担の軽減と、子どもの健やかな成  
長を応援する。

## 【内容】

定期的な見守りの実施

+

乳児用おむつ券の交付





## 【見守り訪問】

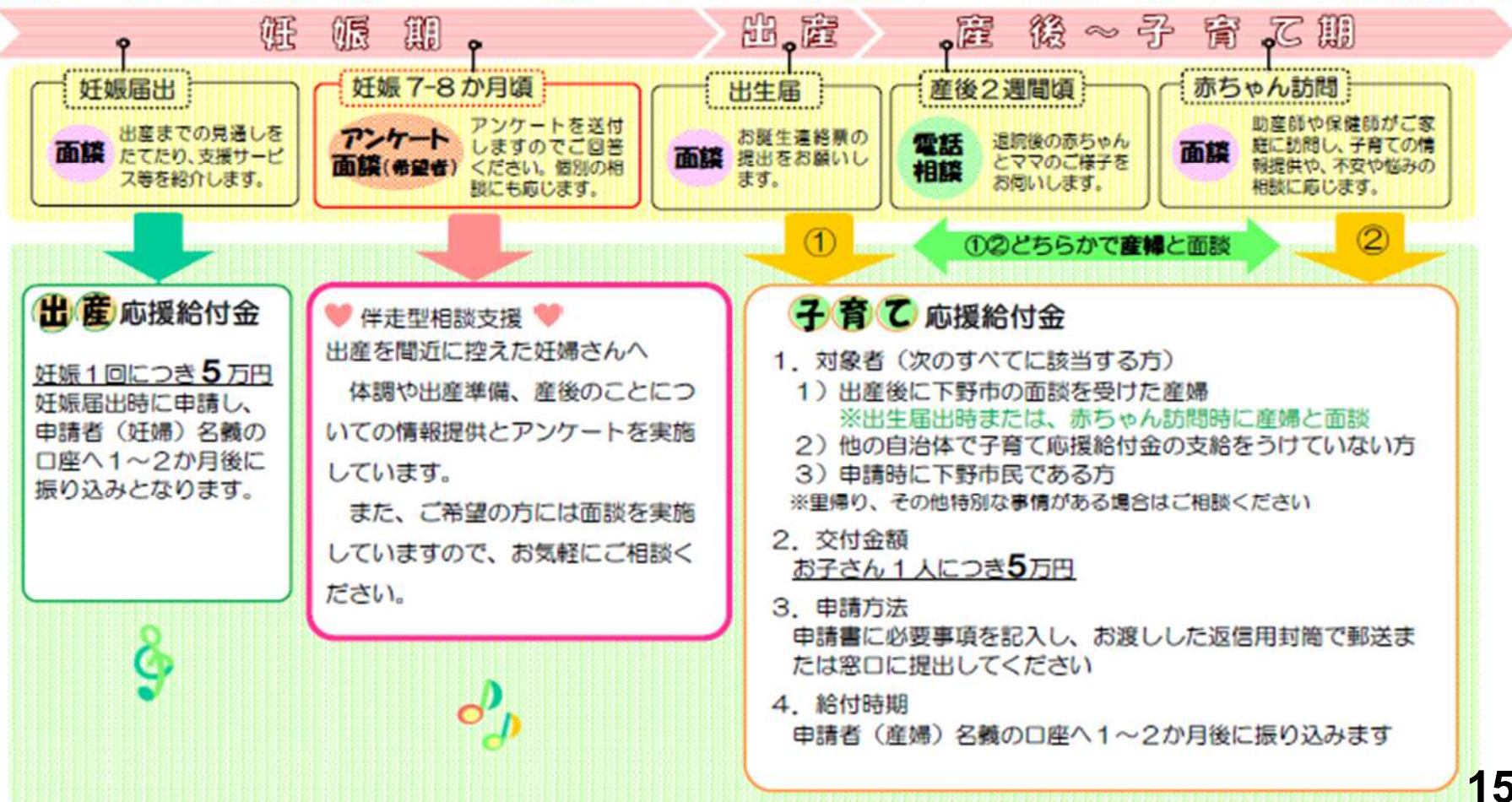
- ・「こんにちは赤ちゃん訪問」のおおむね1か月後に再訪問
- ・乳児の栄養や生活状況等の相談援助、子育てに関する情報の提供等
- ・おむつ券の交付

## 【乳児用おむつ券】

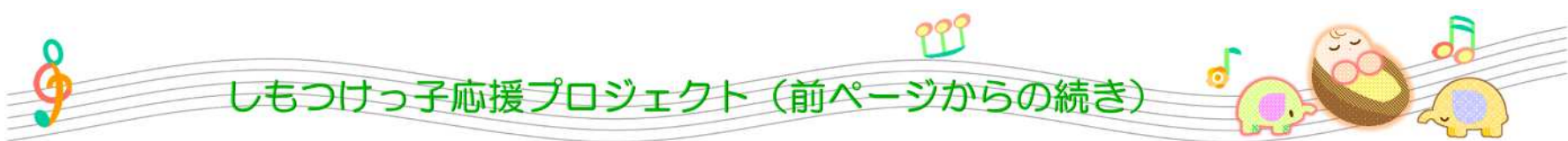
- ・おむつ券の交付は2回
  - ① 見守り訪問
  - ② 10か月健診
- ・1回あたり2万円分のおむつ券を交付（2,000円×10枚）
- ・市内の指定店12店舗で使用可
- ・おむつ券の対象商品は、乳児用紙おむつ・おしりふき・おむつライナー

# 下野市伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業

妊娠期から子育て期にわたり安心して出産・子育てができるよう、ご相談やサービス等の紹介などの支援と、出産応援給付金・子育て応援給付金を支給します。







# しもつけっ子応援プロジェクト（前ページからの続き）



**乳児用おむつ券の交付**

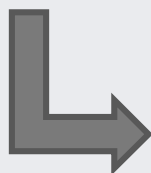
1. 対象者（次のすべてに該当する方）  
下野市に住所がある乳児（1歳未満児）の保護者
2. 交付金額  
1回につき**2万円**分のおむつ券を交付（2,000円×10枚）  
見守り訪問、10か月検診の2回交付します。
3. 市内の指定店12店舗で使用できます。
4. おむつ券の対象商品は、乳児用紙おむつ・おしりふき・おむつライナー



# 窓口手続きの簡素化・オンライン化について

## ●窓口手続きの課題

1. 分かりづらい
2. 手間がかかる



**手続きに時間がかかり、  
窓口が混雑する。**



## ●システム概要

### ①窓口手続簡素化システム



- ・マイナンバーカードを読み取り、書類に自動で印字。氏名や住所など記入する手間を省く。
- ・画面に表示される質問に回答していくと、必要な申請書が作成される。

## ●システム概要

### ②オンライン申請システム

《例》

- ・受給証の交付申請
- ・補助金や助成金の申請 など

自宅や外出先からスマートフォンで24時間いつでも  
手続きの申請ができる。

一部手続きについては、来庁せずに手続きを完結する  
ことも可能。

来庁の必要がある場合でも、事前申請と来庁予約で  
手続きにかかる時間を短縮。

引き続き手続きを増やし、サービス向上に努めます。





# 燃やすごみの減量化について

## ◎燃やすごみの削減目標

全体目標

**H30年度比 年間5,000トンの削減**

下野市 目標

**家庭系 平成30年度比 年間600トン削減**

**事業系 平成30年度比 年間200トン削減**

**一人一日あたりの目標 400グラム以内**




卵一つが60  
グラムだから、  
二人家族なら  
卵2つぶんか

※R4年度実績では **一人一日あたり 455グラム**  
なので、**一人一日あたり 55グラム** の削減を  
目指し減量化事業に取り組む必要があります。



# 目標達成のための取り組み事例

## 1. ごみ分別の徹底拡大

- 生ごみの減量化（水切りの徹底・たい肥化）
- 雑紙の分別（燃やすごみではなく資源物に）
- プラごみの分別（は燃やすごみではなく資源物に）
- 電池類の分別（燃やすごみやプラ容器ではなく電池・有害の日に）



## 2. 指定ごみ袋制度の導入検討

- 指定袋制度方針案の説明会（10月中旬～11月中旬）
- 方針案に対するパブリックコメント（1月頃実施予定）
- 方針案決定（3月頃）
- 指定袋導入に関する説明会（4月以降実施予定）



# 下野市農業研修者受入支援事業について



## 事業概要

担い手不足による農業の衰退が懸念される中、農業の未来を担う新たな就農者を育成・確保するため、農業研修者を受け入れて技術指導を行う農家（受入農家）に対し、助成金を交付する。

## 助成金額

研修者1名につき**3万円/月**

※助成対象となる研修の月数は3月以上24月以内で、日数は月の日数の1/2以上、時間は1日に4時間以上とする。  
（同時に受入できる上限は3名まで）

## 交付要件

市内に住所を有する認定農業者等で、下記の要件を満たす研修者を受け入れる方。  
※研修者との関係が親族や雇用関係の場合は対象外。

## 研修者の要件

- (1) 農業で自立を目指す方。
- (2) 市内に居住している方。
- (3) 営農する農地が市内にある方。  
（取得見込みを含む）
- (4) 農業経営を開始していない方。
- (5) 研修者としての登録時において、年齢が満18歳から65歳までの方。

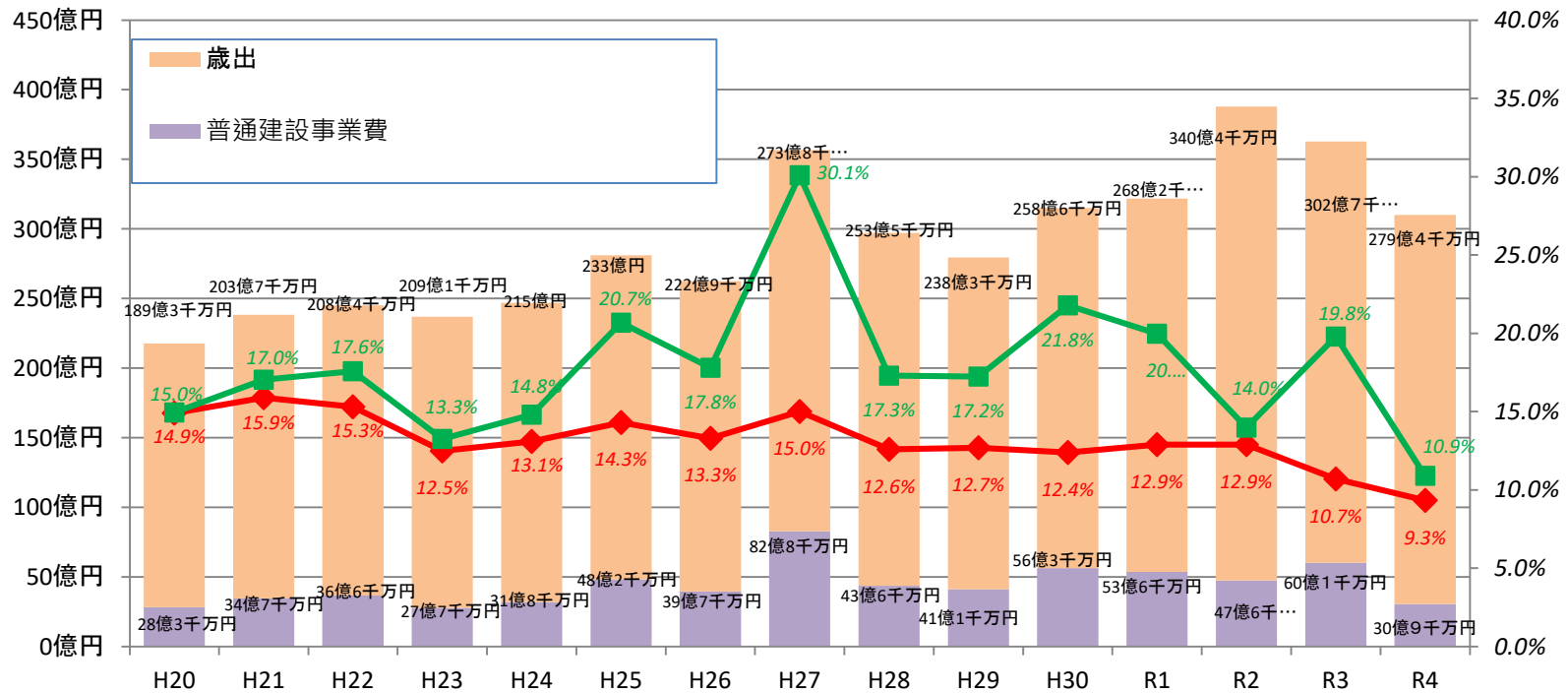
受入時は市がマッチングを支援



# 魅力ある暮らしやすいまちづくりを目指して積極的に事業を推進

合併後の普通建設事業費の推移は、財政健全化を図ると同時に、小・中学校の耐震化や大規模改修、また義務教育学校の建設、新庁舎建設、市道や上下水道などの都市インフラの充実を積極的に推進してきました。令和4年度も県内14市平均を上回る規模となりました。

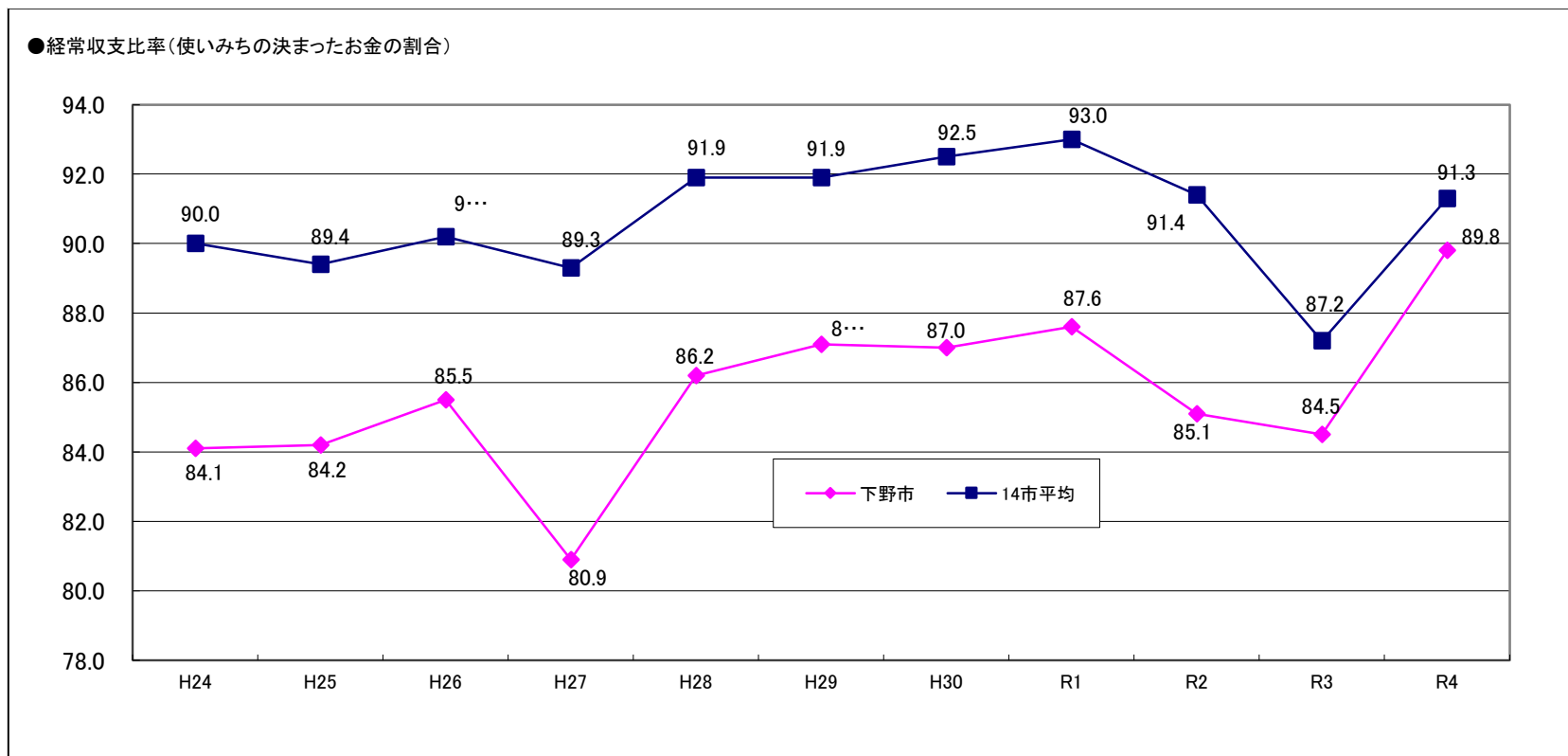
## 過去15年間の普通建設事業費の推移



# 経常収支比率の推移

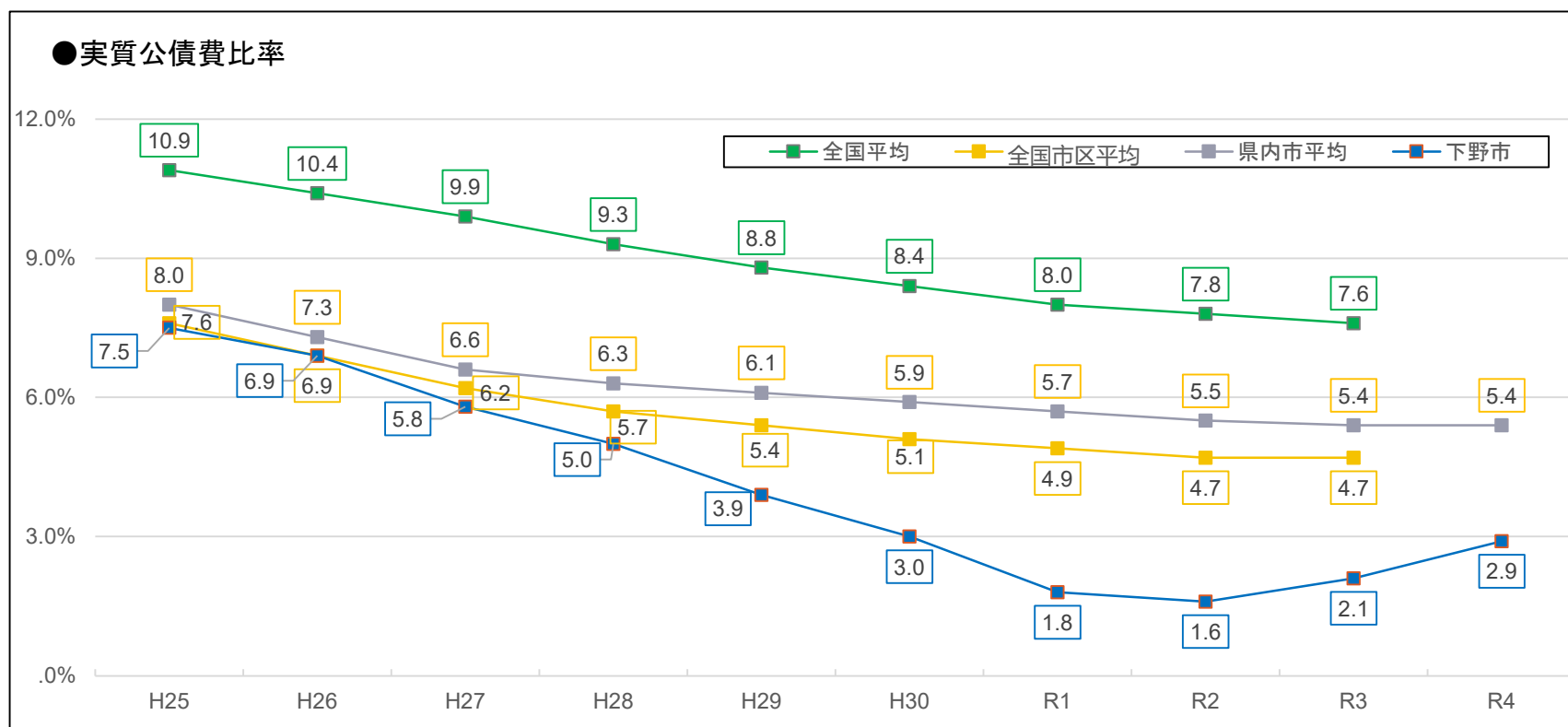
財政構造の弾力性を判断する指標で、低いほど良いとされています。毎年度経常的に収入される一般財源（地方税や普通交付税など）のうち、義務的経費（人件費、扶助費、公債費など）に充当された一般財源の割合となります。

今年度の経常収支比率は89.8%で、前年度の84.5%から5.3ポイント増となり、県内14市中の順位も前年度の2位から6位に下がりましたが、14市平均を下回っています。（6位／県内14市）



## 実質公債費比率の推移

一般会計等が負担する元利償還金(公債費)や準元利償還金(公債費に準ずる経費)の標準財政規模に対する比率で、低い方が良いとされています。  
 早期健全化基準25%以上の団体は財政健全化計画の策定が義務付けられており、財政再生基準35%以上の団体は、財政再生計画を総務大臣に協議し、同意を得なければ、災害復旧事業等を除き地方債発行が制限されます。  
 ※R4の数値は速報値であり、全国平均及び全国市区平均については現状では公表されていません。

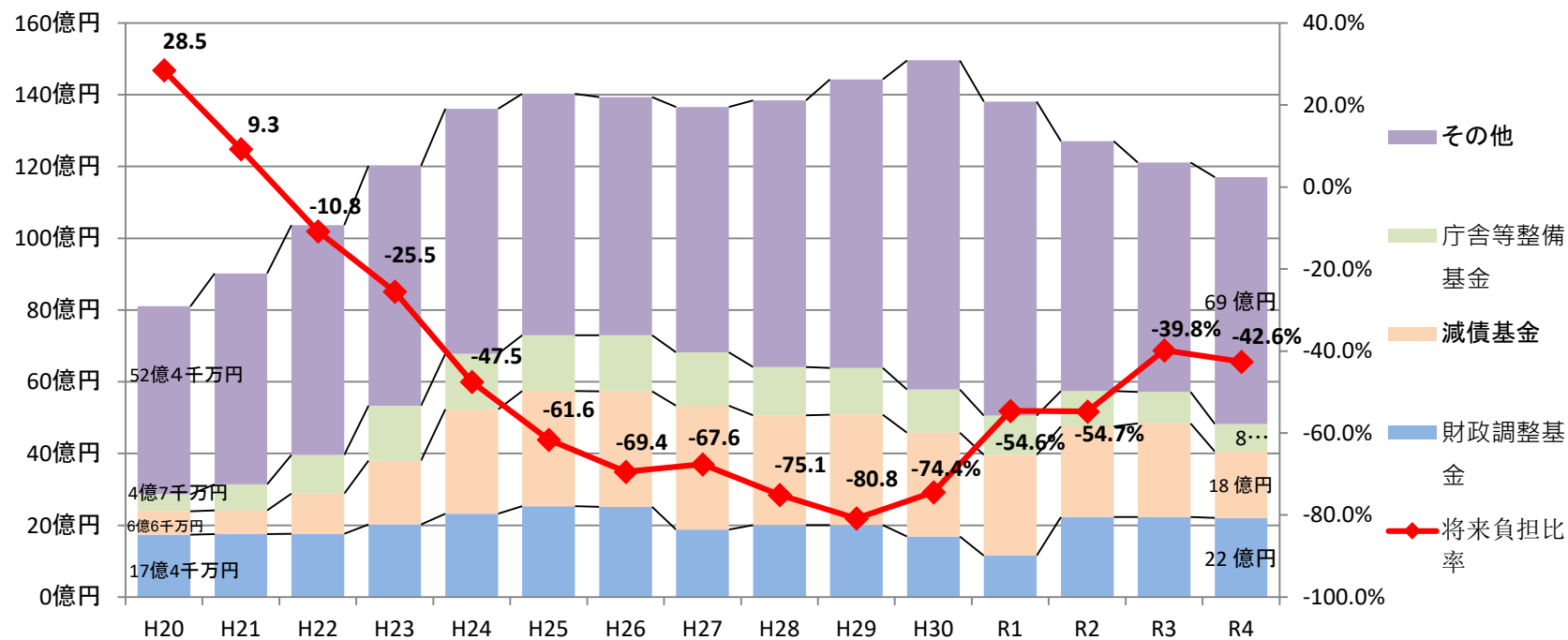




## 基金残高と将来負担比率の推移

基金残高は、将来の財政負担、災害等の突発事案に対応できるよう適正な基金管理を行っています。令和4年度は、合併特例事業債の終了に伴い公共施設整備基金を中心に積み立てを行いつつ、財源不足を補うため財政調整基金や公共施設整備基金等を取崩したため、令和4年度末では、109億3,874万円となりました。

将来負担額（地方債の現在高等）から充当可能財源（基金等）を引いた額を標準財政規模から算入公債費を引いた額で割って算出される将来負担比率は、低い方が良くとされ、-42.6%は県内14市中第3位となっています。



# 第12回下野市産業祭

- ・日時 10月29日（日） 午前10時～午後2時
- ・場所 大松山運動公園 多目的グラウンド

**市内の事業者等が一堂に会し、自慢の品を展示販売！**

- ・食と農の情報発信（下野市の特産品（下野ブランド）の展示）
- ・市内商工業者等による出店
- ・市内企業による自社製品の展示、販売
- ・各種団体による活動PR
- ・ステージイベント

（各種表彰式、市内園児による発表会、講師による独演会）



例年の産業祭出店状況